

栃木県地域福祉支援計画（第4期）の策定について（案）

R2(2020). 3 保健福祉課

1 基本的な考え方

「地域共生社会の実現」を計画の方向性と位置づける。

【法改正の状況等】

- 改正社会福祉法（「資料4－1」参照。）の主旨では、住民に身近な圏域における地域生活課題の把握・解決に向けた環境整備や、市町村における包括的な相談支援体制の整備に関する条項が新設され、各自治体には「地域共生社会」に向けた施策の展開が求められている。
- 平成30(2018)年3月以降に計画を策定（改定）された27都道府県のうち、12都道府県が「地域共生社会の実現」を計画の方向性としている。

2 計画期間

(1) 計画期間の変更

現状（第1期から第3期計画）：5か年計画 → 次期（第4期）：6か年計画

(2) 変更する理由

改正社会福祉法により、「地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項」を計画に盛り込むこととされた。

本県におけるこれらの関連計画の策定状況は以下のとおりであり、今後、これまで以上に調和を図っていく必要があることから、計画期間を見直す必要があると考える。

(3) 本県における関連計画の策定状況

計 画 名	計 画 期 間		次期計画始期 (予定)
	始期 ～ 終期	期 間	
栃木県地域福祉支援計画（第3期）：現行	H28(2016)～ <u>R2(2020)</u>	5か年	<u>R3(2021)～</u>
栃木県高齢者支援計画 「はつらっプラン21（七期計画）」	H30(2018)～ <u>R2(2020)</u>	<u>3か年</u>	<u>R3(2021)～</u>
とちぎ障害者プラン21（栃木県障害者計画）	H27(2015)～ <u>R2(2020)</u>	<u>6か年</u>	<u>R3(2021)～</u>
栃木県障害者福祉計画（第5期） 栃木県障害児福祉計画（第1期）	H30(2018)～ <u>R2(2020)</u>	<u>3か年</u>	<u>R3(2021)～</u>
とちぎ子ども・子育て支援プラン	H27(2015)～R1(2019)	5か年	今年度策定中 (R2(2020)～)

【県の考え】

次期計画を「6か年」とし、高齢者福祉、障害者福祉に関する計画と策定年度を一致させることで・・・関連計画との調和が図りやすくなる。

(※) 児童福祉については、既に今年度策定中のため引き続き検討。

3 重点事項（拡充又は強化する事項）

- （１）地域課題に対応する相談・支援体制の充実
（市町における包括的支援体制構築支援、ひきこもり対策、権利擁護等）
- （２）支え合いの地域づくり（平時や災害時に関わらず、日頃からの“多様なつながり”）

【令和元年度に実施した以下の調査結果等を踏まえた施策を展開】

- ・ 民生委員・児童委員を通じた「福祉的課題を抱える世帯の状況調査」
（複合・複雑的課題等を抱える世帯や、ひきこもりに関すること）
- ・ 県政世論調査（地域のつながり・住民同士の支え合い活動に関すること）
- ・ 地域座談会における参加者（社会福祉施設経営者など、福祉活動実践者等）による意見

4 法改正等

- （１）令和２（2020）年における社会福祉法の改正

令和元年12月の地域共生社会推進検討会「最終とりまとめ」を受けて、近く社会福祉法改正案の提出が見込まれていることから、計画の内容を検討するに当たっては、同時に、国の動向にも注視していく。

- （２）数値目標項目の見直し

目標の達成状況や等から、数値目標項目の見直しを実施していく。

5 今後のスケジュール

「資料４－２」を参照。 ※ 令和２（2020）年度は、本委員会を“４回”開催予定